新品種・新技術の確立 支援事業 取組概要 $(H30 \sim H31)$

『種なしきんかん「宮崎夢丸」の安定生産技術の確立と現地実証による産地育 成』

【全体概要】

宮崎県が育成した種なしキンカン「宮崎夢丸」は完全種子を含まないため、生食・加工の際に種子を出す必要がなく、消費者ニー ズが高い品種である。そこで試験場で開発した結果安定技術を現地実証することにより、速やかな産地化につなげるとともに、加 エ・業務用への販路拡大により農家所得の向上を目指す。

新品種・新技術等の概要

【品種特性】

完全種子を含まず、糖度が高く、酸味が少ない ため食味が良いキンカン。一般的なキンカン品 種よりも熟期がやや早い。三倍体品種の特性で 樹勢が非常に強く、幼木~若木にかけての生産 性が不安定である。

【現地実証試験と内容】

〇施設栽培(3力所)、露地栽培(3力所)

○樹勢コントロールによる結果安定技術の確立

- •枝を下方へ誘引
- •根域制限栽培
- ・結束バンドによる幹の締め付け

主な取組内容

【検討会の開催】

- ·実証ほ設置検討会(1回)
- ·実証ほ生育検討会、収量·品質検討会(各1回)

【栽培・マニュアルの作成】

- 品種特性をとりまとめ、商品規格書を作成
- 苗木管理マニュアルを作成

【産地・実需者の意向・ニーズ調査】

- ・県内加工事業者への意向アンケート(1回)
- 【産地・実需者とのマッチング活動】
 - ・県外の市場、加工事業者、小売店への情報提供(3回)



左:宮崎夢丸、右:ネイハキンカン



実証ほの宮崎夢丸

実施体制図

【協力農家】6戸

- ・実証は栽培管理 各種データ記帳等
- 実証依頼·情報共有

【普及センター(産地指導機関)】

連携

・実証ほの運営管理

各種検討会への参画

-各種調査

【各JA】

助言·指導

加工適正の評価

情報共有

・新たな加工品の試作

調整·情報共有

連携

【実需者】【食品開発センター】

【農業経営支援課(農業革新支援専門員】

- 事業実施計画、活動計画の作成・運営
- 各種検討会の開催 関係機関、参画機関との調整





・振興方針への反映

• 夢丸プロジェクト開催

連携

安定生産技術の



・産地化に向けた指導 出荷、流通形態の検討

- 課題と今後の対応
- 【実証結果等の概要】
- ・樹勢のコントロール効果は見られたものの、 開花後の高温対策などの課題も見られた。

【JA宮崎経済連】

流通戦略

実需者との意見交換を通じて、先方が要望す る規格や出荷時期等について把握することが できた。

【2年目の取組】

〇施設栽培(4力所)、露地栽培(4力所)

- ・引き続き、樹勢コントロールによる結果安定技 術の確立に取り組む。
- ・開花期の加温により結果促進を図る。
- ・販売力強化のために、果実の機能性成分の 分析を行う(ビタミンC、E)。

